

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	241 障がい者福祉施設整備に伴う借入金等償還助成事業	会計	01	一般会計
		款	03	民生費
		項	01	社会福祉費
基本施策	05 障がいのある人の自立した生活を支える	目	04	障害福祉費
		細目	193	障害者福祉一般事業
行革大綱の重点事項番号		7	細々目	56 障害福祉施設整備事業
担当部課	コード	130200		担当者氏名
	名称	障がい福祉課		
		連絡先	22 - 9657 (内線)	2620

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	社会福祉法人	※対象件数
成果(どうする)	施設整備に伴う借入金等の償還助成を行うことにより、施設の健全な管理運営が図られる。	
根拠法令・要綱等	健康福祉部関係係補助金等交付要綱	
開始年度	平成 16 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	障がい者福祉施設整備に伴う借入金等の償還金に対する助成を行った。 伊賀市社会事業協会 梨丘園 元金及び利子助成(平成22年度まで) 維雅幸育会 ひまわり作業所緑ヶ丘分場 元金及び利子助成(平成34年度まで) 名張育成会 ひびき・レインボー 元金及び利子助成(平成26年度まで)	
社会情勢の変化等	【平成22年度より】 名張育成会 名張育成園児童寮 元金及び利子助成(平成42年度まで)助成については名張市と折半 維雅幸育会 GHココウツ 利子助成(平成36年度まで) 【平成23年度より】 維雅幸育会 GHココウツ 元金助成(平成36年度まで) 伊賀那会 GHたいよう 元金及び利子助成(平成37年度まで)	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
償還助成施設	か所	目標	3	3	6	6
			実績	3		
			目標			
			実績			

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
償還助成施設	か所		目標	3	3	6	6
			実績	3	3		
			目標				
			実績				

投入コスト	H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求	
					(千円)
直接事業費計(A)	22,031	21,788	23,571	19,000	
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	0	0	0	0
	一般財源	22,031	21,788	23,571	19,000
事業投入人件費(B)	0.1人 720	0.1人 720	0.1人 720	0.1人 720	
フルコスト(A)+(B)	22,751	22,508	24,291	19,720	

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)	
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	民間法人だけでは全てを負担しきれないため、市が補完する必要がある。 施設整備については総合計画に位置付けている。	
	個人(セーフティネット)を整備する事業		
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業			
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】			
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業			
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】			
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。 サービス水準や対象を見直す余地がある。	○	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることのできる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	【平成22年度より】 名張育成会 名張育成園児童寮 元金及び利子助成(平成42年度まで)助成については名張市と折半 維雅幸育会 GHココウツ 利子助成(平成36年度まで) 【平成23年度より】 維雅幸育会 GHココウツ 元金助成(平成36年度まで)	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	助成基準の整備が必要である。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 助成規準についての検討を行ったが、決定には至っていない。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	増田 政美
【方向性】	現状維持
【理由】	「障がい者福祉計画」に基づき障がい福祉サービスの充実を図るためには、社会福祉法人等の福祉サービス事業者と連携し社会資源の増加を推進する必要がある。しかしながら、社会福祉法人等が施設整備を行う場合、施設整備の借入金整備後の施設を運営するうえで大きな負担となるため、借入金等の償還助成を行うことにより、施設の健全な施設運営と、社会資源の増加が図られる。
現時点における課題、その他	助成基準の整備が必要である。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	国・県の基準を参考に平成22年度末までに助成基準を定める。